

「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」新規研究課題および一部課題の再編について

計画を推進するうえで、やや手薄であった研究と、御嶽火山噴火に対応するため、研究戦略室及び関係の計画推進部会と協議のうえ、新規研究課題の設置および一部課題の再編を行った。これに伴う予算配分の変更については、審議をお願いする。

新規課題

- ・首都圏に被害を及ぼす地震の解明およびその被害の実像（東大地震研）
- ・火山災害情報およびその伝達方法のあり方（名古屋大学）

課題の再編

- ・水蒸気噴火後の火山活動推移予測のための総合的研究－御嶽・口永良部・阿蘇－（京大理）

既存課題「阿蘇火山における水蒸気爆発の予測および火山災害軽減のための観測研究」を拡大し、一部内容は「多項目観測に基づく火山熱水系の構造の時空間変化の把握と異常現象の検知（北海道大学）」から移した。

- ・多項目観測に基づく火山熱水系の構造の時空間変化の把握と異常現象の検知（北海道大学）

一部の研究内容を上記新課題に移した。